

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:燃料プール水位・温度(SA)関係)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/8/31	NS2-添2-004-05	耐震(計算書)VI-2-4-2-4	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.8	燃料プール水位・温度(SA)の耐震性に係る評価部位について、基礎ボルト及び架構以外の部位(ワークテーブルフック、保護管等)を対象としていない理由を説明すること。	2023/2/15 2023/3/15	架構と壁の取付部であるワークテーブルフックの評価を追加し、耐震健全性に問題がないことを確認しました。 また、保護管については、架構(角形鋼)及び保護管の耐震評価を実施し、架構(角形鋼)の方が厳しい結果となるため、架構(角形鋼)について評価結果を記載している旨、追記しました。	NS2-添2-004-05改02「VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書」P.9,34	
2	2022/8/31	NS2-添2-004-05	耐震(計算書)VI-2-4-2-4	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	燃料プール水位・温度(SA)に係る解析モデルの拘束条件について、水中サポートブロック部の鉛直方向拘束条件を説明すること。	2023/2/15	解析条件として、鉛直方向の並進方向の拘束ありと拘束なしの2条件で評価を行うことにより、実機の固定条件である、鉛直下向き並進方向のみ固定を模擬しています。 4.2(5)項において、解析条件が上記のとおりであることがわかるように、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)・・・水中サポートブロック部の水平方向の並進2方向と鉛直方向のうち下向き並進方向を固定する。 (新)・・・水中サポートブロック部の水平方向は並進2方向を固定し、鉛直方向は並進方向固定ありと固定なしの2条件で解析を実施する*2。 また、注記2として以下のとおり注記を追記しました。 (追記) 解析条件として鉛直方向の並進方向の拘束ありと拘束なしの2条件で評価を行うことで実機固定条件(下向き並進方向のみ固定)を模擬する。	NS2-添2-004-05改01「VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書」P.9	
3	2022/8/31	NS2-添2-004-05	耐震(計算書)VI-2-4-2-4	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.23	燃料プール水位・温度(SA)に係る基礎ボルト(1本あたり)の発生反力の算出について、スロッシング荷重の算出過程を説明すること。	2023/2/15	スロッシング荷重による発生反力及び応力は、架構設置位置におけるスロッシング速度と受圧面積から算出したスロッシング荷重を、三次元はりモデルへ入力した解析により算出しており、算出過程を補足説明資料としてまとめました。	NS2-補-027-10-95「燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書に関する補足説明資料」	
4	2023/2/15	NS2-添2-004-05改01	別添資料	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	架構及び保護管の鉛直方向付加質量の計算方法について説明すること。	2023/3/15	鉛直方向の水の付加質量について、設定の考え方を追記しました。	NS2-添2-004-05改02「VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書」P.10	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震性についての計算書:燃料プール水位・温度(SA)関係)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～97については、NS2-他-269改01で整理済みのため省略。						
98	NS2-添2-004-05改03	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.10	4.2解析モデル及び諸元(2)について、付加質量の設定に関し記載を適正化しました。	2023/4/7	
99	NS2-添2-004-05改03	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.23	記載を適正化しました。(下線部参照) 5.1構造強度評価方法(3) (旧)・・・水平方向及び鉛直方向から作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の組み合わせには、・・・ (新)・・・水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の組合せには、・・・	2023/4/7	
100	NS2-添2-004-05改03	VI-2-4-2-4 燃料プール水位・温度(SA)の耐震性についての計算書	P.39	記載を適正化しました。(下線部参照) 5.6.3ワークテーブルフックの応力評価 (旧)・・・許容組み合わせ応力 $f_{tm}$ 以下であること。 (新)・・・許容組合せ応力 $f_{tm}$ 以下であること。	2023/4/7	